

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和5年6月12日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 小城市小城町544-1
団 体 名 特定非営利活動法人ようこそ小城
代表者職・氏名 理事長 山口則幸
電 話 番 号 0952-20-5544

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人ようこそ小城
- 2 事業実施期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

<p>■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像</p> <p>協働事業を推進することにより佐賀県民が豊かで希望のある生活ができる仕組みを作っていく。老若男女を問わずその一人一人の特性をつかみ、活躍できる場が見つかれば、佐賀県内の市民活動も大きく飛躍していくと思う。そのための一助としていく。</p>

4 事業の成果

<p>①県民の便益にどのようにつながったのか</p> <p>人材育成にかかわることによってその関わる人材がもつ特性（性格・技術）を活用できた。 1. 市民活動センターの後任センター長育成。2. 小城フットパスクラブの次期世話人代表選定。3. 小城ファシリテーション研究会の共同代表選定。ヨガ事業・パソコン教室事業の事業継続人材発掘。にじいろぼけっとの団体継続のための人材・資金の獲得ノウハウを会員に伝える。環境分野でともに活動してくれる人材確保(1名) することができた。中間支援組織としての機能を果たしてきた。</p>
<p>②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）</p>

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位:円]	うち寄附金 活用額 [単位:円]
①地域の環境を守る事業	①三里地域や石体地域の耕作放棄地の整備 ②三里の住民・牛津高校生 石体では石体の住民 ③三里地域では「ふるさと・夢つむぎネットワーク」との連携で耕作放棄地の開墾・整備 (果樹の植栽や収穫・草刈りなど) 石体地区においては「笑うて暮らそうやっ会」と連携して春・秋花植え、道路の草刈りなど	①春の花植え5月15日、秋の花植え10月16日 三里地域では年間100日、石体地域では20日間の作業 ②三里の耕作放棄地及び石体	1,000,000	980,000
②ICTの普及に関する事業	①小城市民向けパソコン操作のお困り事を解決している。パソコンの修理も行う。 ②主に小城市民や市民活動を行っている個人向け ③毎月2回の教室開催	①毎月第1木曜日と第3木曜日 10時から12時 ②ゆめぶらっと小城市会議室	200,000	100,000
③市民活動に取り組む当事者間及び公共部門又は民間事業との連携事業	①町の魅力を再発見する ②佐賀県民 (主に小城市民) ③小城フットパスクラブ・小城商工会議所と連携してフットパスイベントを開催した	①新しいコースのお披露目イベント・11月26日晴気コース、4月2日晴気コースN02。小城商工会議所の会員交流会の開催 (10月9日) ろうきん友の会の会員イベント開催 (3月30日) ②小城市晴田地区。	200,000	150,000
④健康増進に関する事業	①ヨガ事業を通して市民の健康増進を図る ②佐賀県民 (主に小城市民) ③毎月土曜日、午前中はゆめぶらっと小城、午後は牛津公民館で開催	①毎週土曜日 10時~11時と14時~15時 ②ゆめぶらっと小城、会議室	300,000	80,000
⑤地域コミュニティーづくりに関する事業	①「ファシリテーション」を「小城ファシリテーション研究会」と連携して行う。 ②ファシリテーションを必要としている行政機関や団体 ③会議を円滑に進めるためにファシリテーションを行う。月に1回会合を開き、スケジュール調整や講師を招いた勉強会を開催し、会員間の定期的な交流及び能力向上を図る。	①毎月第2水曜日 夜7時から例会。個別の依頼はなし。 ②ゆめぶらっと小城市会議室	300,000	330,000

<p>⑥地域福祉に関する事業</p>	<p>①「こども宅食」を「にじいろぼけつ」と連携して行う。 ②小城市内の小学生を持つ貧困家庭 ③学生服のお譲り会、通学ヘルメット贈呈を行う。毎月に1回、応募のあった家庭（約40所帯）に市民から集めた商品（お米や文房具など）を配達した。また、企業からの寄付（現金・商品）で不足品の購入と配達を行う。</p>	<p>①毎月第3土曜日14時から宅食事業お譲り会、宅食相談は随時受け付けている ②当団体事務所</p>	<p>1,500,000</p>	<p>818,105</p>
<p>計</p>			<p>3,500,000</p>	<p>2,458,105</p>

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位:円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位:円]
計			0	0

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		3,781,288
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	3,781,288
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	3,500,000
	前年度控除額(県事務経費)還付分	281,288
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		3,781,288
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	2,458,105
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	1,323,183
	返礼品等の調達に係る費用	1,072,064
	返礼品等の送付に係る費用	86,119
	広報に係る費用	15,000
	事務に係る費用	150,000

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		0
-------------------------------------	--	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<http://youkoso-ogi.org/>